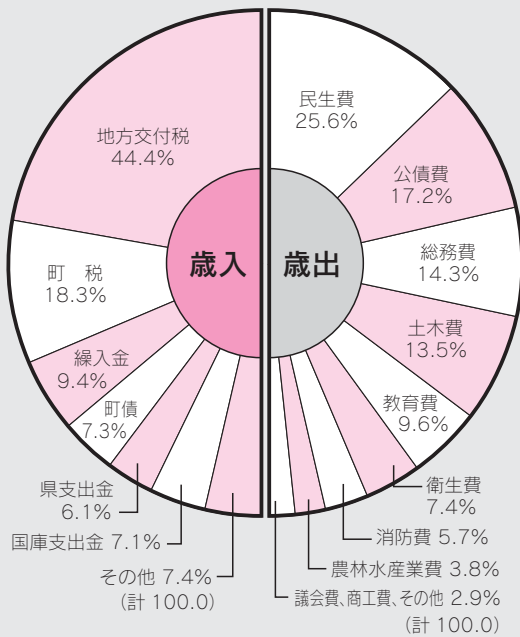


平成20年度予算額

◆一般会計 64億1,946万円



◆特別会計など

国民健康保険	26億2,931万円
後期高齢者医療	1億4,565万円
老人保健	1億7,465万円
介護保険	13億3,509万円
介護保険 (サービス事業勘定)	266万円
簡易水道事業	8,555万円
漁業集落 排水処理事業	1億4,762万円
公共下水道事業	4億469万円
水道事業	収益的支出 2億7,325万円 資本的支出 3億393万円

参考

1世帯当たりの一般会計歳出予算額 (20年3月1日現在 7,227世帯)

民生費 (福祉の向上のために使われる経費)	226,998円
公債費 (事業を行うため借りたお金の返済に充てる経費)	152,491円
総務費 (一般事務費などに使われる経費)	126,969円
土木費 (道路の整備や区画整理事業に使われる経費)	120,167円
教育費 (小中学校の管理や社会教育に使われる経費)	85,521円
衛生費 (各種検診やごみ処理に使われる経費)	65,494円
農林水産業費 (農林水産業の振興に使われる経費)	34,152円
その他 (消防費、議会費、商工費など)	76,470円
合計 (1世帯当たり)	888,261円

汚水処理施設とノロウイルスの因果関係は

問 汚水処理施設とノロウイルスの因果関係はあるか。
地域整備課 ノロウイルスは人間の体の中でしか増殖しない。処理施設への流入水には混入しており因果関係はある。
問 放流水からノロウイルスを除去、または、滅菌できないのか。
地域整備課 紫外線滅菌方式と膜分離活性汚泥方式がある。既存の施設は紫外線滅菌方式でDNAを壊して不活化していると考ええる。山田処理区は今後検討する。

地域営漁計画 町としての意気込みは

問 地域営漁計画は県が本気になったから実現できた町としての意気込みは。
町長 養殖については、過密であることを言ってきた。やとと営漁計画を作成することになった。行政は万能ではないが、意を持って進めていく。

土地区画整理事業 予算減額の理由は

問 土地区画整理事業の予算が減っている理由は。
地域整備課 事業の進捗状況

住民へ情報提供を 合併という選択肢も考え

況を見て、住民と相談しながら移転などの予定を決め、予算要求をしている。減額は、現地調査の結果、移転戸数が減ったためである。
問 地方交付税は、今後総枠が減る中で合併した地域へ優先的に配分される。合併という選択肢も考えて、町財政の情報や町外の合併の情報を提供すべきでは。
町長 合併により優遇されるのは算定替えの条項だけである。
新たな情報については提供しよう努力したい。

意識改革が大事 町内歩いて目で見ると

問 職員の意識改革が大事である。町内を歩いて目で見ると一生懸命仕事を。
町長 まだまだ足りない部分があると思う。ご意見を賜りながら努力したい。

人件費の削減もつと努力を

問 人件費1億1000万円減だが、退職者分ではないか。もつと努力が必要では。
町長 自然減のほかにもさまざまなところで、削減に努力している。